

山形県 戸沢村

豊かな自然に四季のかおりと舟唄のこだまする村をつくろう

とざわむら 議会だより



2024 No. 153

2024年9月定例会

2~3p 9月定例会 **過去最大の補正予算を可決!!**

4~5p 令和5年度 **各会計決算審査**

6~7p 令和6年 **7月豪雨災害**

8~9p **各常任委員会・県議との意見交換会** 議会日誌 他

10p **7月25日からの豪雨災害を受けて** 編集後記・表紙の言葉

一般質問を取り止め、災害 対策に戸沢村、戸沢村議会、 迅速にあたる

令和6年
9月
定例会

9月定例会は9月11日から13日の3日間の会期で行いました。報告事項2件、令和6年度補正予算7件（うち1件は専決処分の承認）、令和5年度各会計歳入歳出決算の認定6件、条例改正4件、条例の設定が1件、規約の一部変更2件が提案され、全議案を可決。

令和6年9月定例会では全議員一般質問を行いました。戸沢村議会では初めてのことになりました。一般質問を行わなかった経過等については6、7ページに掲載しています。

一般質問とは？

一般質問とは議員が、村の一般事務に対してその執行の状況又は将来の方針、政策的提言や行政の課題などを村長などの執行部に直接質すことです。質問の範囲は、村の行財政全般のほか、地域で住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。

過去最大の
一般会計補正予算額
専決処分含め
17億2,400万円を可決

主な補正内容

令和6年度一般会計
補正予算（第4号）
補正額5億4,200万円

令和6年7月豪雨災害に対応するための予算として計上され可決しました。

◎農業振興事業費

1億1,065万円

主な内訳

- ・農機具修理・再取得支援補助金 3,500万円。
- ・農林水産物等災害対策事業費補助金 2,440万円。
- ・小規模農地等災害復旧事業 2,000万円。

◎災害復旧費

4億3,595万7千円

主な歳出内訳

災害対策総務費

- 避難所食事代 1,000万円
- 廃棄物処理等 4,800万円
- 円（処理手数料）2,000万円
- 円、廃棄物運搬 2,000万円
- 円、廃棄物積み込み重機・収集運搬車両賃借料等々 800万円

農林水産業施設災害復旧費

- 農地農業用施設災害復旧事業費 測量設計、工事費、資材代 2億1,980万円。
- 林業施設災害復旧事業費 測量設計、工事費

4,900万円。

公共土木施設災害復旧事業費

測量設計、工事費
4,000万円。

令和6年度一般会計
補正予算（第5号）
補正額11億8,200万円

令和6年7月豪雨災害に関する被災者への被害見舞金、生活再建に係る補助金、廃棄物処理費、災害復旧工事費、除排雪事業費等を可決しました。

主な歳出内訳

災害救助費

- 被災住宅応急修理等委託料 2,000万円、賃貸型応急住宅借上料 1,800万円、浸水住宅復旧緊急支援事業費補助金 1,350万円
- 衛生費

- 予防接種費 新型コロナウィルスワクチン予防接種委託料 1,534万円
- 土木費

除雪対策事業費

5,790万円の増

災害復旧費

補正額

9億3,525万8千円

災害対策総務費

村災害見舞金5000万円

(大規模半壊等家屋

30万円)

(戸半壊・床上浸水

20万円)

(床下浸水

10万円)

災害廃棄物処分手数料

2000万円の増

災害廃棄物運搬処分業務委

託料

6200万円

二次避難所借上料

1800万円

生活家電等(エアコン・洗

濯機・冷蔵庫・テレビ)購

入費補助金

4200万円

小型家電・家庭用機械器具

等購入費補助金

4000万円

宅地等災害単独復旧事業費

助成金

1000万円

農林水産業施設災害復旧費

農業用施設災害復旧費

4億9370万円

林業施設災害復旧費

557万円

公共土木施設災害復旧費

1億7990万円

特別会計・企業会計補正額

戸沢村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

..... 724千円

戸沢村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

..... △745千円

戸沢村介護保険特別会計補正予算(第1号)

..... 31171千円

戸沢村簡易水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収入及び支出の補正

..... 収入10666千円 支出29195千円

資本的収入及び支出の補正..... 収入5300千円

戸沢村下水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収入及び支出の補正

..... 収入186720千円 支出180427千円

資本的収入及び支出の補正..... 収入1600千円

条例改正等5議案
全会一致で可決

○戸沢村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

政令に伴い、所要の規定を整理するため提案されました。

○令和6年7月豪雨に係る災害被害者に対する戸沢村税の減免の特例に関する条例

令和6年7月豪雨災害による被災者の村民税・固定資産税の減免を図るため提案されました。

住宅の災害程度、合計所得金額に応じて村民税が減免されます。減免の割合は10分の10から8分の1まで。固定資産税は損害の程度に応じ、10分の10から10分の2までの5段階で軽減又は免除されます。

○戸沢村災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

令和6年7月25日の災害により被害を受けた村民の福祉及び生活の安定を図るべく、所要の規定の整理を行うため提案された。

「障害」を「障がい」に、「意義」を「定義」に改められ、災害援護資金の取扱いが見直されました。

○行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

法律の一部改正に伴い条例の一部改正が行われました。

○戸沢村定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

当該条例の29条による住宅の譲渡申請書が提出され、譲渡するため提案されました。

規約の一部変更2議案
全会一致で可決

○山形県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について

国の法改正により被保険者証等が廃止されることに伴う規約変更は議会の議決が必要となることから提案された。

○最上広域市町村圏事務組合規約の一部変更について

新たに副管理者を置くため、議会の議決が必要になることから提案されました。

陳情取り扱い結果

「母が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情」、「国民の命を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出についての陳情」は、委員会付託せず、議運、全協での協議となりました。

令和5年度 一般会計 決算審査



委員長／加藤 政一議員(左)
副委員長／荒川 和明議員(右)

質疑の主な内容

- Q** 地方揮発油譲与税とは。
A 地方揮発油譲与税は国から分配されます。
- Q** 公営住宅使用料について186万4600円の収入未済額、何件分か。
A 前年度の住宅使用料の未済です。公営住宅及び子育て応援住宅の方で6件ほどの未納が発生しております。
- Q** 草薙地区の再開発事業費、土地購入費が318千円ほど支出されています。登記手数料を含めて82万3千円ほど支出されています。これですべて完了か。
A 残り3件、未解決な土地が残っております。相続登記人が多く時間がかかる見込みです。
- Q** 購入した土地を売却もし

- くは譲渡するのか。
A 「紅」の方に所有権は移したいと考えています。売却するかどうかは確認します。
- Q** 高齢者福祉交通事業補助費の内容は。
A タクシー券です。
- Q** 使い勝手が悪いという声があります。ガソリン券に変更できないか。
A ご意見をいただき、令和3年度に500円分のタクシー券に切り替えをさせていただいたところですが、ご好評いただいております。ガソリン券への変更はプロジェクト会議にて議論することになっていきます。
- Q** 春先、角川地区に箱罌をとりにつけた。サル被害の状況は。
A 春先は罌にかかっていましたが、家庭菜園の収穫時期に入り、畑に出没しています。10月、11月以降罌に入ると考えています。

令和5年度 一般会計・特別会計 決算（単位：千円）

区 分		歳 入			歳 出		
		令和5年度決算額	令和4年度決算額	増減額	令和5年度決算額	令和4年度決算額	増減額
一般会計		5,425,109	5,234,734	190,375	5,028,425	4,641,337	387,088
特別 会計	国民健康保険	8,812	8,532	280	8,024	6,865	1,159
	後期高齢者医療	64,320	61,052	3,268	63,447	60,041	3,406
	介護保険	782,750	784,080	-1,330	750,606	731,745	18,861
合計(一般・特会)		6,280,991	6,088,398	192,593	5,850,502	5,439,988	410,514

※歳入歳出とも千円未満は、四捨五入

企業会計決算（単位：千円）

区 分			令和5年度		
			予 算	決 算	増減
企 業 会 計	簡易水道事業会計決算	事業収益	186,582	194,243	7,661
		事業費用	218,216	209,088	-9,128
		差 引	-31,634	-14,845	16,789
	下水道事業会計決算	事業収益	171,466	165,588	-5,878
		事業費用	208,944	194,985	-13,959
		差 引	-37,478	-29,397	8,081

※簡易水道事業、下水道事業は令和5年度より企業会計へ移行しました。
令和4年度までは特別会計。

村税の決算額と収納率

区 分	決算額(千円)	収納率(%)
村 民 税	144,939	95.5
固定資産税	197,393	92.0
軽自動車税	18,172	97.8
たばこ税	29,613	100.0
入 湯 税	5,071	100.0
旧法による税	31	8.0
合 計	395,219	94.1

令和3年度の収納率が95%、令和4年度の収納率が94.3%、令和5年度が94.1%とほぼ、横ばいの状態が続いています。

令和5年度 村税の決算額と収納率

- Q** 若者センター2階部分の施設管理が行き届いていないようだが改善策は。
A 状況を確認し、必要であればスポーツクラブに強く指導していきます。
- Q** 除雪委託料2435万1684円不用品額となっている積雪量が少なく除雪の稼働が少ないことが理由か。
A 降雪が少なく除雪の稼働が少なかったためです。今冬は大雪となるかもしれません。
- Q** 除雪が1回しか行けないものですか、その間にまた降雪があった場合の件かと思えます。除雪サポート事業を使えないか検討したい。
A 県単独土砂災害対策事業費負担金、6631千円あるわけですが、危険箇所という意味か。
- Q** 神田地区、急傾斜の対策事業の負担金となっています。急傾斜については県営事業でやっていただいている。それで救済できなかった分にはない。今年度の除雪対策は万全か。
A 除雪が1回しか行けないものから、その間にまた降雪があった場合の件かと思えます。除雪サポート事業を使えないか検討したい。
- Q** 今回の豪雨により各地で土砂崩れ等が発生しました。今後、情報を取りまとめ、現地確認のうえ対策を検討したい。
- Q** 若者センター2階部分の施設管理が行き届いていないようだが改善策は。
A 状況を確認し、必要であればスポーツクラブに強く指導していきます。

令和5年度 特別会計・企業会計 決算審査

質疑の主な内容

国民健康保険

Q 最上地区広域連合を解散するのか、継続となるのか、現状と今後の見通しは。

A 目的は達成したと思います。当面は国のシステム変更に対応することになります。

介護保険事業

Q 今年度、施設から不正

請求された件について係争に入っています。その経過は。

A 県と協議を行いました。不正請求額は戸沢村分で618万5456円と高額となっています。県とのやり取りを重ね、県は事業所の指定を取り消しました。被害額を不納欠損と処理してよいか協議した結果、訴訟に至りました。

Q 被害額の回収の見込みは。

A 少し経緯を見る必要があります。回収の見込みについて回答できる状況ではありません。

簡易水道事業会計

Q 被災された方々の水道料金の基本料を免除するという話がありました。被災されていない方が免除分を負担することがないよう配慮いただきたい。

A 今回の減免分が他の方の値上げになってはならないと考えています。

監査意見（抜粋）

効果的な予算執行

適切な予算額の計上に努めるとともに、予算執行にあたっては、各施策の必要性、有効性、経済性を見極めながら、効率的・効果的な執行を要望します。今後に限られた財源を最大限に活用し、村民の満足度を高める行政サービスを提供されるよう期待します。

危機対応の構築

風水害、地震など万が一の危機対応について、マニュアル等を整備し村民の安全安心な暮らしの維持に万全を期するよう要望します。一方、事務事業執行の面においても災害による突発的な事態を想定して、役場の業務継続が可能な体制の構築に向けて取り組むことが不可欠であると考えます。

最小経費で最大の効果を

業務の公正性、透明性を確保したうえで、限られた財源を最大限効果的、効率的に活用し、住民サービスのより一層の向上に貢献していく必要があります。引き続き村民の福祉の向上と村政発展に寄与されるよう、期待するものであります。



▶ 庄司純司代表監査委員

7.25 豪雨災害

復興を

7月の豪雨災害で、甚大な被害が発生しました。被害を受けた村民の皆様は心からお見舞いを申し上げます。村内の被害状況は人的被害はなかったものの、床上浸水・床下浸水あわせて261戸で、農林業に関する被害は、農地被害75箇所、農業施設92箇所（農業集落排水処理施設含む）、農地406ha、その他農作物、林業被害がありました。また、公共土木施設に関する被害は、村道（土砂撤去及び清掃等含む）、水道、公共下水に被害がありました。農林業、公共土木の被害総額が28億7千93万2千円で膨大な被害額で、今号で災害の状況を、紙面の関係で一部ですが写真で紹介いたします。

この度の災害は、今まで経験した事のない被害であり、被害調査、国、県への対応を優先させ、一日も早い復旧、



高麗館から見た蔵岡方面



古口地区の浸水状況



蔵岡地区内被害状況



津谷駅前の浸水状況



向松坂地区の土砂災害



神田から名高方面の農地



野口地内（ぼんぽ館上の）農地・土砂崩落

一日も早い 復旧、

復興に向けて議員の一般質問を行いました。
皆様の安全安心な生活に向けた課題解決の質問が、12月
定例議会で、交わされると思います。12月定例議会の傍聴
においで下さい。お待ちしております。

戸沢村議会

議長 小野 宏

※ 参考として令和6年度の戸沢村一般会計当初予算は、
43億8千300万円です。

背景写真 柏沢地区農地被害



西沢地内の土砂崩落

総務文教・産業建設 合同常任委員会

9月12日合同常任委員会を開催し、各課より7月25日から8月末現在の災害状況の報告をいただき、今後の対応等を協議しました。協議内容は見舞金、住宅・河川・道路の被害状況、農地や水路の被害状況、罹災証明書手続き、災害ごみ対応、被災者への健康観察や保険指導等多岐にわたりました。

日を追う事に災害の全容が明らかになり、住居浸水



始め、農地、がけ崩れ等被害は広範囲に及んでいます。国・県・村から財政支援が受けられ、個々の農地被害の復旧には10分の10の補助金が活用出来るとはいえ、100万円以上は自己負担が生じます。

復旧を諦め耕作放棄地が増える事の無い取り組みが求められます。

今回の合同常任委員会では重要視されたのが、被災者への生活支援、高齢の被災者が多く生活再建に必要な資金の確保です。今後、村として県、国への要望を強化し、支援金を一刻も早く届け、被災者が安心して暮らせるように務めて行きたいと感じました。

産業建設常任委員会

委員長 柿崎 英矢

山形県議会議員・戸沢村・ 戸沢村議会意見交換会



9月14日、山形県議会より伊藤重成議員、小松伸也議員にお越しいただき、戸沢村からは村長、副村長、総務課長、建設水道課長、危機管理室長が、議会からは全議員が出席し、災害の現状、今後の災害対応について意見を交わしました。

7月25日の豪雨災害により被害を受けた方への支援、一日も早い復興、被災者救済について両県議より提案がありました。

一日も早い被災者救済に尽力することを確認しました。

さらには今後、想定される危険個所の対策や、安全確保に必要な施策についても意見交換しました。

温暖化による異常気象がもたらす多様な災害に対して防災意識を高めることは大切と考えています。安全安心の構築と一日も早い復旧に向けて両県議と連携を図り、今後、国、県等関係機関への要望を行います。

総務文教常任委員会

委員長 安食 勇

議会広報常任委員会報告



定例議会終了後に、議会広報常任委員会を開催し、議会だより発行に向けて取り組み、皆様に「読み伝わる広報」を基本に編集作業を行っています。

編集技術の向上にむけ、県町村議会主催の研修会と全国町村議会議長会主催の研修会に議長、副議長と広報常任委員4名全員で参加してきました。

両研修とも、住民に情報を伝えるためには、読む人側の視点に立ち読みやすく、紙面に住民が登場している広報づくりに向けての研修でした。

手に取って読んで頂き、伝わる議会広報の編集技術の向上と、地域の話題や多くの住民登場に向け議員の活動量を増やしていきます。皆様のご意見をお待ちしています。また、取材の際はご協力お願いします。

議会広報常任委員会

委員長 加藤 政一

議会日誌 (7月～9月)

7月

- 1日 新庄中核工業団地企業誘致促進協議会
令和6年度定時総会
- 2日 令和5年度戸沢村消防操法大会
国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備
促進期成同盟会 要望活動
(新庄湯沢道路同盟会 合同)
※湯沢河川国道事務所
- 5日 国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備
促進期成同盟会 要望活動
※酒田河川国道事務所
- 6日 TOZAWAツーリズム協議会下刈り活動
- 9日 大石田町議会委員会研修対応
- 10日 議会広報常任委員会
- 11日 国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備
促進期成同盟会 要望活動
(新庄湯沢道路同盟会 合同)
※山形河川国道事務所
※東北地方整備局
- 12日 最上県勢懇話会例会
- 17日 町村議会広報研修会(山形市)
- 18日 山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟
令和6年度促進大会
- 22日 令和6年度知事と町村議会議長との
意見交換会

23日 例月出納検査

24日 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会

25日 議員全員協議会・第5回臨時会
決算審査

29日 最上広域市町村圏事務組合議会7月臨時会

8月

- 6日 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会
- 7日 議員全員協議会
- 13日 最上広域市町村圏事務組合議会8月臨時会
- 15日 令和6年度戸沢村20歳の集い
- 28日 例月出納検査・決算審査

9月

- 3日 議会運営委員会
- 7日 戸沢学園校内相撲大会
- 11日 定例会(本会議)
決算特別委員会
- 12日 決算特別委員会
合同常任委員会
- 13日 定例会(本会議)
議会広報常任委員会
- 24日 例月出納調査
- 25日 町村議会広報研修会(東京)

7月25日からの豪雨災害を受けて

蔵岡地区会会長 山崎 昇

令和6年7月25日からの豪雨災害により、蔵岡・堀田沢地区69戸全戸が浸水被害に見舞われました。

一部住民が逃げ遅れたため、自衛隊のヘリコプターにより救助され、尊い一命を取り止めることができ、一人の犠牲者を出すことなく、済んだことが何より幸いでした。改めて、関係機関の皆様にお礼を申し上げます

発災と同時に、戸沢学園避難所での生活を余儀なくされましたが、給食・入浴・健康管理など各方面に亘り、関係者の心温まる対応に感謝しております。

さて、自宅での生活が困難な世帯に対し、応急仮設住宅が用意され、希望した28世帯が10月9日に仮設住宅の鍵を頂き、漸次引っ越し作業が行われ、新しい生活が始まりました。

仮設住宅は、寒冷地仕様の高床式で断熱性や気密性が高く、他県被災地における仮設住宅と

は違い、グレードアップしたもので、狭いながらも家族が団らんでできる安全・安心な場が確保できました。

気候変動や異常気象が頻発する中、これから先、地区住民が洪水に怯えることなく、子どもや孫の世代も安住できる地において、住民一丸となり、新生蔵岡地区を創生すべく、行政機関と歩調を合わせ、前を向いて行きたいと考えています。



応急仮設住宅

議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

12月4日(水)～6日(金)

本議会は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局 ☎72-2113にお問い合わせください。



表紙の言葉

9月25日に戸沢学園5年生による稲刈りの体験学習が行われました。

7月の豪雨で冠水しましたが、たわわに実った黄金色の稲を、地域の先生に稲刈り鎌の使い方や刈りとった稲の束ね方を指導いただき、今では見かけない杭掛けを体験されました。

自然と大地の恵みに感謝し、収穫の喜びと食の大切さを忘れないで下さい。

編集後記

7月の豪雨災害により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。
153号は9月定例会の概要と、7月豪雨災害を、風化する事のないように、災害状況の写真を掲載しました。
災害復旧、復興にむけあらゆる面で取組んで行く必要があります。

議会広報常任委員会

委員長 加藤 政一